

# たからばこ

～9号～

高齢者が人生の最後まで自分らしく暮らし続けられるよう、地域主体の「支え合い」の仕組みづくりを進めていくものです。



▲詳細  
【長岡市HP】

この情報紙は、地域で支え合い活動に取り組む皆さんを応援するために発行しています。

各地区や団体が日々積み重ねている取組や、地域福祉がより活発になるためのヒントをお届けします。日々の活動や今後の取組にぜひお役立てください。

今回は「社会福祉法人・企業・団体等との連携」をテーマに取り組んだ①関係者ネットワーク会議、②長岡市福祉コミュニティ推進のつどい、③「社会福祉法人・企業・団体等」と「地域」とのつながり状況調査の報告をします。



## Ⅰ 関係者ネットワーク会議

関係者ネットワーク会議は地域の様々な取組や課題・困りごとをみんなで共有し、高齢者が元気に活躍できる機会や、住民同士で支え合える仕組みを考えていく会議です。

### 第1回（議題：①連携事例の共有／②課題／③今後の方向性）



#### ①連携事例の共有

- ・三島地区：地元農業団体による「ふれあい市（移動販売）」（会場：市三島支所、地域の茶の間）
- ・関原地区：地元仕出し屋による買い物ツアー
- ・富曾亀地区：地元の小学生が作った新米でお弁当を作り、高齢者宅へ「お弁当配達」
- ・サポートセンター摂田屋での「交流、学習スペース開放」
- ・JAによる「食材寄附やサロンへの参加」、葬儀業者による「駐車場貸与」
- ・サポートセンター摂田屋の「学習スペース開放」「災害時の一時避難所」

#### ②直面している主な課題

- ・「認知症初期の方」や「外出を拒む男性」が目的を持って通える場所が不足している。
- ・「社会福祉法人や企業」「コミュニティセンター」等が互いの情報を十分に共有できていない。

#### ③今後の方向性

- ・「連携」という言葉に構えず、まずは事例紹介を通じて自然なつながりのきっかけを作る。  
⇒「長岡市福祉コミュニティ推進のつどい」（詳細裏面）の開催
- ・地域や企業、団体等の取組の可視化が必要。  
⇒「社会福祉法人・企業・団体等」と「地域」とのつながり状況調査（詳細裏面）の実施

## 第2回

### ●「社会福祉法人・企業・団体等」と「地域」とのつながり状況調査（詳細裏面）に基づく意見交換

- ・民間企業と地域の連携が少ない印象。地域貢献を希望する企業からの問合せもあるため、商工会議所を通じて連携のきっかけを作れる可能性がある。
- ・企業の社会貢献への意識は高まっているが情報が見えにくい。活動可能な企業や活動内容を一覧にしてみると、地区としてもお願いしやすい。
- ・地域包括支援センターからは、コミュニティセンターの活動の参加を勧めたい人がいるが、移動手段や参加のきっかけがなく参加に至らないケースがある。参加者の興味を引くようなきっかけとなるイベントがあると良い。
- ・年間活動か単発の活動かを選ぶようにすることも大事。「やり始めたらずっとやらなければ」と考えると荷が重く感じる企業もある。寄付や、職員のスキルアップなど、企業側への選択肢を用意することも有効。まちの先生の制度のように、できることが明確だと依頼しやすい。
- ・地域の活動内容や役立つ点を具体的に示すと企業にとって分かりやすい。企業がボランティアに参加するにあたってハードルになっていることを把握した方が良い。



# 長岡市福祉コミュニティ推進のつどい

日時：令和7年12月17日（水）14:00～16:00  
会場：長岡市産業交流会館ハイブ長岡  
参加者：109名

## 【シンポジウム】

- 倉重 圭介 氏（（福）芳香稚草園 認可保育所芳香稚草園 園長） ……「地域の声から、その時必要な福祉を」
- 反町 伸仁郎 氏（（福）中越福祉会 みのわの里ワークセンター北陽 主任） ……「障害ではなく、その方を見てほしい」
- 大矢 泰三 氏（（福）長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 業務課長） ……「将来を見据えた、福祉の実践を」
- 飯田 美樹 氏（宮本コミュニティセンター 福祉担当主事） ……「一緒に、地域課題を考える機会を」



【倉重氏】



【反町氏】



【大矢氏】



【飯田氏】



## 【情報共有】

- ・法人内に20の事業所があり、障害のある利用者が地域のために活動を行っているが、一部の関わりのため顔見知りになれない。【福祉施設・事業所】
- ・トイレ掃除や草取り等、地域に求められる取組を通して地域の一員だと感じられる。【福祉施設・事業所】
- ・地域との関わりで事業所側もどのように関わればいいのかわからない。【福祉施設・事業所】
- ・他分野でも話し、つなげることが必要。何回でも繰り返していくことが必要。【地区社協・地区福祉会】



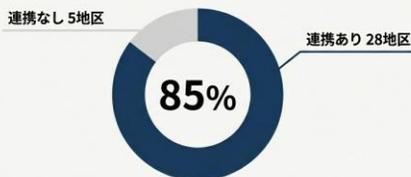
# 「社会福祉法人・企業・団体等」と「地域」とのつながり状況調査

【調査対象】 地区福祉会・地区社会福祉協議会 【調査期間】 令和8年1月9日（金）～1月20日（火）

【回収率】 80.5%（33地区/41地区）

## 「社会福祉協議会・企業・団体等」と「地域」との連携の有無について

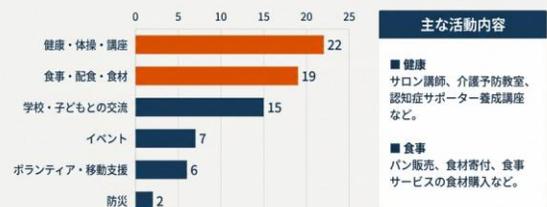
8割以上の地区ですでに外部連携の実績がある



旧長岡地域では26地区中22地区、支所地域では7地区中6地区で連携が確認されており、地域差なく活発に行われている。

## 「社会福祉協議会・企業・団体等」と「地域」との取組内容について

活動の二本柱は「健康づくり」と「食の支援」



## 地域とつながっている社会福祉法人・企業・団体名などについて

「学校」が最多パートナーだが、民間企業の参入も見逃せない



### 民間企業・JAの事例

- ・ JA (6件)
  - ・ 民間企業 (6件)  
- 具体例：原信、ヤクルト、明治安田生命など
- その他：障害福祉サービス、地域包括支援センター、商工会館など。

## 参考データ

| 設問      | 項目          | 件数 |
|---------|-------------|----|
| 連携内容    | 健康・体操・講座    | 22 |
| 連携内容    | 食事・配食・食材    | 19 |
| 連携内容    | 学校・子どもとの交流  | 15 |
| 連携内容    | イベント        | 7  |
| 連携内容    | ボランティア・移動支援 | 6  |
| 連携内容    | 防災          | 2  |
| 欲しいサポート | 事例提供        | 9  |
| 欲しいサポート | 物品等の提供      | 2  |
| 欲しいサポート | 行政の仲介       | 2  |

※令和7年度第2回関係者ネットワーク会議 資料より抜粋

## つながりの具体例

- ・ ツクイ長岡三和からサロンでの軽体操の講師をしてもらっている（千手）
- ・ 小学生から歴史講座の講師をもらっている（阪之上）
- ・ 地域福祉懇談会での防災マップ作成に、福祉施設からも協力してもらっている（大島）
- ・ 地元営農集団から食事サービスの野菜等を寄付してもらっている（太田）
- ・ 小学生や保育園がつくったお米や野菜等を食事サービスに寄付してもらっている（下川西）

つながりづくりに関して市社協地域福祉課の地区担当職員にお気軽にご相談ください

